

広報 **かなだの風** 2004
8.1
 No.500



CONTENTS

広報紙500号
 広報紙の広報史 2~3
 救急車は正しく使おう・
 金田町からのお知らせほか 4~5
 かなだ日記 6~7
 みんなのひろば 8~11
 くらしの情報 12~15



広報紙500号

広報紙の 広報史

金田町の広報紙が今月で500号を迎えました。昭和36年10月に「金田町報」としてスタート、行政からのお知らせや町のできごと、皆さんとともに考えたいテーマを町内の全世帯にお届けする大切な情報誌。その内容は、時代の流れとともに少しずつ変化していきました。今回は、金田の広報紙の歴史をふり返ってみましょう。



金田町報スタート

昭和36年10月号【1】～平成2年9月号【233】

全4ページ新聞紙スタイルで中央公民館が3か月に1回発行。その後、昭和49年1月号【131】からは総務課、昭和57年4月号【202】からは教育委員会が発行。

育児、年金、交通暮らしに役立つお知らせが中心の紙面でした。

また、当時の金田町は、子供会、婦人部、青年団などの活動が盛んで、運動会やスポーツ大会、子ども祭などが紙面を飾っていました。



広報カナダを毎月発行

平成2年10月号【234】～平成8年4月号【300】

広報カナダとして企画開発課が毎月発行。4ページから8ページ、さらに16ページに増え、町の話や企画・シリーズ物が充実する。この頃から担当者がカメラを持って町内を駆け回り取材、作文をこなすスタイルに。また、担当者が「編集後記」を書き始める。

〈主なコーナー〉

田川の行事が一目で分かる「パノラマ田川」

平成4年4月号【249】～

10代～20代の活気あふれる「ヤングトーク」

平成7年6月号【290】～平成10年9月1日号

かわいいかわいい「ハッピーバースデー」

平成7年7月号【291】～

〈担当者〉

天賀和良 平成2年10月号【234】～平成6年4月号【276】

吉田憲治 平成6年5月号【277】～平成8年4月号【300】

広報カナダを毎月2回発行

平成8年4月15日号【301】～

パソコンで編集を行うDTPシステムを導入して、担当が取材、作文の他にレイアウト、入力などの編集作業も行う現在のスタイルに。さらに1日号（16ページ）と15日号（8ページ）の毎月2回発行。タイムリーな情報の提供に努める。また、平成13年4月1日号【420】から名称を広報「かなだの風」に変更、より親しまれる紙面を目指す。

〈主なコーナー〉

読者へのサービスが魅力の「^{しょうてんがい}紹店街」

平成9年6月1日号【328】～平成11年3月1日号【370】

あの人とあの人をつなぐ「ペンリレー」

平成10年4月1日号【348】～

健康に役立つレシピ「お元気ですか？ 食進会です」

平成12年6月1日号【400】～

好評のお店紹介が復活「^{みせしょうかい}お店商開」

平成14年4月1日号【444】～

担当2人によるボケとツッコミ「編集後記」

平成15年4月1日号【470】～平成15年11月1日号【482】

元気な金田中学生「それ行け！ 部活動」

平成15年7月1日号【474】～平成15年3月1日号【490】

〈担当者〉

吉田憲治 平成8年4月15日号【301】～平成10年5月1日号【350】

八代賢一 平成10年5月15日号【351】～平成13年1月15日号【415】

永末卓哉 平成13年2月1日号【416】～平成14年5月15日号【447】

森野道正 平成14年6月1日号【448】～平成15年4月1日号【468】

日吉由香 平成15年4月15日号【469】～平成15年11月1日号【482】

並川昌太郎 平成15年4月15日号【469】～

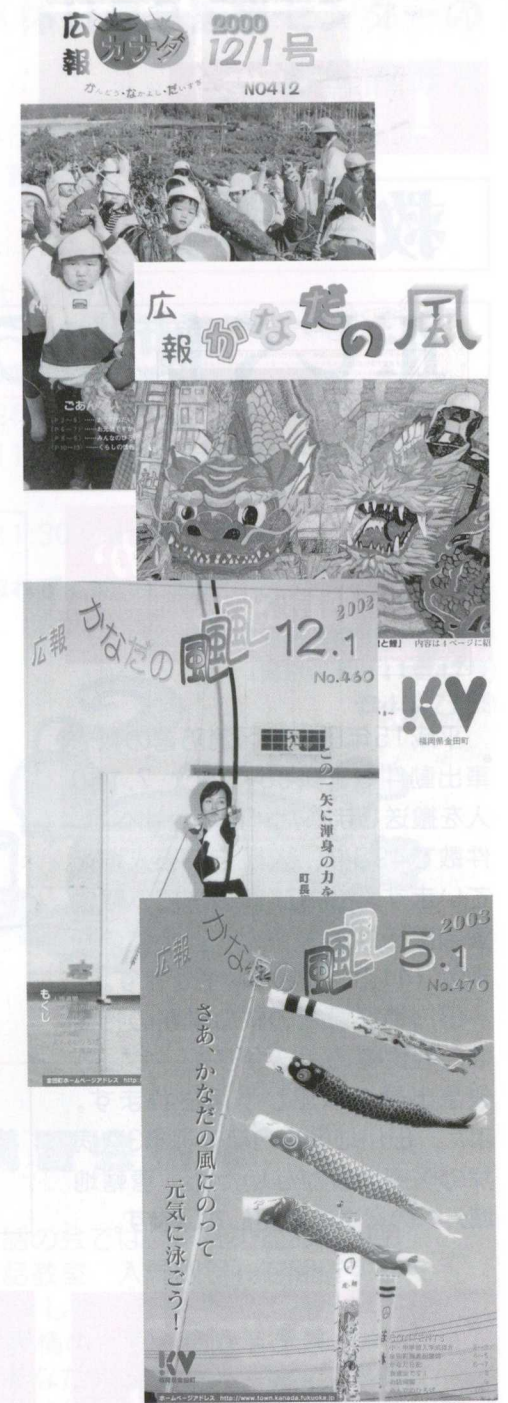
広報担当者は記録と記憶に残るような広報紙づくりを目指して今日も町を駆け回っています。どうぞ取材にご協力ください。



広報紙は、町の「今」を刻み続けてきて、その結果が歴史となりました。

これからも町の、そしてみなさんの「今」を刻み、後世に残していきたいと思えます。そのために、担当者、印刷会社、文書配布係、組長などたくさんの方のがんばりを結集して、月に2回、みなさんの手に広報紙をお届けします。

これからも広報かなだの風をよろしくお願ひします。



119番

救急車は

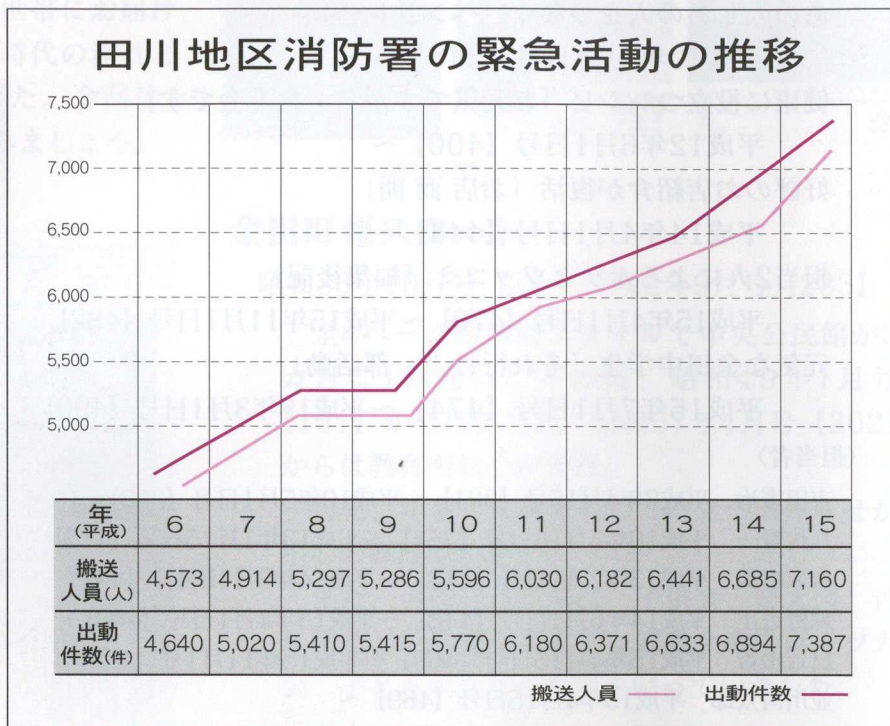
正しく使おう



軽傷者の搬送が 41.8%

平成15年田川地区消防署の救急車出動件数は7,387件で、7,160人を搬送しました。前年と比べて、件数で498件、人員で475人増えています。救急出動の中で、軽傷者の搬送は2,990人で、全体の約半数(41.8%)を占めています。

田川地区管内の救急業務の特徴は、軽傷者の搬送が多く、今後も救急出動の増加が予想されます。また、田川地区管内には救急3次病院の医療施設がないため、管轄地域外への搬送も増加しています。



緊急時に 救急車がない

田川地区には、5台の救急車が配置されています。この全救急車が、一度に出動する回数が年々増加しています。今後も、救急要請があっても迅速な対応が出来ない事態が予測されます。



1分1秒を争う 尊い命

田川地区では全国的に見て、人口・面積など同じ規模の消防署の救急出動状況と比較すると、年間で約2,000件も多く出動しています。

救急車は緊急時に必要です。軽いケガや風邪熱などの利用は慎むよう皆様のご協力をお願いします。

救急車を利用するとき

- ◆電話が通じたら慌てずに、所在地(出来るだけ大きな目標)と名前をハッキリ言ってください。
- ◆救急車のサイレンが聞こえたら案内人を。夜間であれば懐中電灯などを振って合図してください。
- ◆現場に到着したら救急隊に、次のことを連絡してください。
 - 1) 救急隊が到着するまでの容態の変化。
 - 2) あなたが傷病者へ実施した応急手当の内容。
 - 3) 持病があれば病名、かかりつけ病院と主治医名。

お問い合わせ
田川地区消防(救急係)
☎44-0650



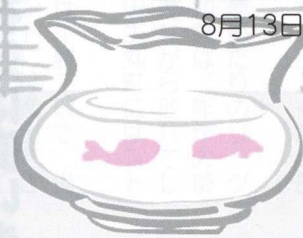
お盆期間の 休館・休業日

施設

町民会館	8月12日(木)~13日(金)
中央公民館図書室	8月12日(木)~13日(金)
B&G海洋センター	8月12日(木)~16日(月)
福祉センター	8月14日(土)~17日(火)
田川地区斎場	8月15日(日)

ゴミの収集・し尿

ゴミの収集	通常通り行います。
し尿	8月13日(金)~16日(月)



金田町教育委員会よりお知らせ

第一回金田町長杯 インディアカ大会

- ▶日時 9月12日(日) 午前9時受付・9時30分開会式
- ▶場所 金田町町民会館
- ▶主催 金田インディアカ協会
- ▶種目 女子一般(44歳以下)・女子シニア(45歳以上)・男子一般 ※1チーム4~8人(監督兼選手可)
- ▶対象 下田川または、田川市に在住か勤務をしている16歳以上の人
- ▶申込用紙配布場所 金田町総合会館
- ▶申込方法 申込用紙に記入し、下記の住所に郵送するか、FAXで送ってください。
- ▶締切 8月24日(火) 必着!
- ▶お申し込み・お問い合わせ
金田町教育委員会生涯学習課
〒822-1201 金田町大字金田1153-1
☎22-2200 ☎22-6869

田川地区休日救急医療センターの お盆診療日

田川地区休日救急医療センターのお盆診療日は次のとおりです。救急の場合のみご利用下さい。

診療日

8月14日(土)・15日(日)

受付時間と診療科目

内科・小児科
9:00~11:30 13:00~16:30 18:00~22:30
外科
9:00~11:30 13:00~16:30

※保険証は忘れずに持って来て下さい。

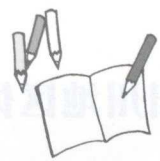
田川地区休日救急医療センター
(田川市新町11番47号)
☎45-7199



手話講習会開催

金田町手話の会では、下記のとおり手話講習会「手話教室 入門課程」を開催することになりましたので受講生を募集します。手話は表情のとても豊かな言葉です。手話を学びあなたのコミュニケーションの輪を広げてみませんか。

- ▶期間 9月7日(火)~平成17年2月8日(火) 毎週火曜日午後7時30分から午後9時まで ※ただし11月23日(祝)を除く
- ▶場所 金田町町民会館2階会議室
- ▶受講料 テキスト代 850円
- ▶修了資格 8割以上の出席者に対して修了証書を交付します。
- ▶申込締切 8月31日(火)
- ▶お申し込み・お問い合わせ
金田町教育委員会生涯学習課
担当 池長和美 荒木直人
☎22-2200



親子の絆を深めました

上金田保育所親子の集い

7月10日(土)、上金田保育所で親子の集いが催されました。朝とお昼は平尾台の大自然で元気に遊び、夜はカレーを作ってみなで楽しくお食事。そして、影あてクイズやキャンプファイヤー、先生の仮装で盛り上がりました。その後は、いよいよよきもだめし大会。こわ〜いおばけ屋敷をクリアした親子は出口でプレゼントをゲット。

最後は園児から保護者に手作りのペンダントのプレゼント。楽しく、親子の絆を深めた1日でした。



「ワッ、お母さんオオカミが来たよー」

陶芸のふる里を訪ねて

金田町ふれあいバスツアー

毎年恒例の「金田町ふれあいバスツアー」が5月25日(火)、29日(土)の両日に合計122人の参加者を集めて行われました。今回は「陶芸のふる里・名護屋」をテーマに、佐賀県の名護屋城博物館、唐津焼鏡山釜など陶芸見学会がメイン。名護屋城博物館では、豊臣秀吉の朝鮮出兵と、上野焼の起源に関する学芸員の説明に参加者たちは真剣に聞き入っていました。(写真下)

企画開発課では、今回参加者の皆さんにアンケートの協力をお願いしました。その中でいただいた、ご意見、ご要望を活かしながら、よりよいものにしていきたいと思っております。



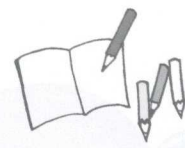
地域のために有効に使います

麻生セメントから町へ貨物専用線跡地を無償譲渡

旧三井鉱山セメントの貨物専用線跡地を、麻生セメントから町へ無償譲渡する贈呈式が6月29日(火)、金田町役場で行われました。

今回、譲渡されたのは、平成筑豊鉄道金田駅から田川市見立まで延びる「金見線」の跡地2.5kmのうち金田町内の約2kmの部分です。

贈呈式では、麻生セメントのマットジーニョ取締役が「この土地を金田町のために役立ててほしい」と挨拶。町長が「有効に活用させていただきます」と応じ、ガッチリと握手を交わしました。(写真下)



楽しい夏の思い出に

金田保育園タベのついで

7月17日(土)、金田保育園でタベのついでが催されました。

園児の踊りや太鼓の出しものでスタートし、先生の出しもの「やまばとと牛飼い」。そして、保護者の出しもの「デカレンジャーとセラームーン」。保護者の出しものでは、悪者のアリエナイザーが恐くて泣き出す子もいました。でも、デカレンジャーとセラームーンが悪者をやっつけてくれました。

その後は、キャンプファイヤーを囲んで歌って踊って楽しんで、最後は花火で締めくくりました。

園児、先生、保護者にとって楽しい夏の思い出になりました。



全カププレーでナイスゲーム

ソフトバレーボール県大会

7月11日(日)、粕屋町総合体育館で開催された福岡県商工会女性部連合会主催の第18回ソフトバレーボール県大会に、金田町商工会女性部が一般の部に出場しました。

予選は、3チーム総当たりのリーグで行われ、金田町の初戦は、昨年の優勝チーム宗像市。残念ながら敗れてしまいました。次の田主丸町にはストレート勝ちしました。

予選リーグの成績は1勝1敗で、惜しくも決勝トーナメントには進出できませんでした。しかし、勝っても負けても、みんなが、全力を出しきったナイスゲームでした。



こんにちは！ 金田町母子寡婦会です

8月の行事をご案内いたします。

小・中学生のためのスポーツ観戦
「アビスパ福岡 vs ベガルタ仙台」

日時 8月21日(土) 16時金田役場出発
19時キックオフ

場所 博多の森球技場
費用 小・中学生は無料
保護者は自己負担

お申込み、またあらゆるご相談は
金田町母子寡婦福祉会
会長 白石 ミサヲ

☎22-5510
090-9485-2119
ai-27mari@qt.net.ne.jp



7月21日(水)のゆかた着付け教室は、なごやかな雰囲気で行われました。着付けをおぼえ、とてもためになったと参加者から好評でした。